

水源の状況と天候の見通し (5月～7月)

1	東海地方の天候（4月）	1
2	ダム地点の降水量（4月）	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	（1）水源の状況	2
	（2）東海地方の3か月予報（5月～7月）	4

令和3年5月7日

（公財）愛知・豊川用水振興協会

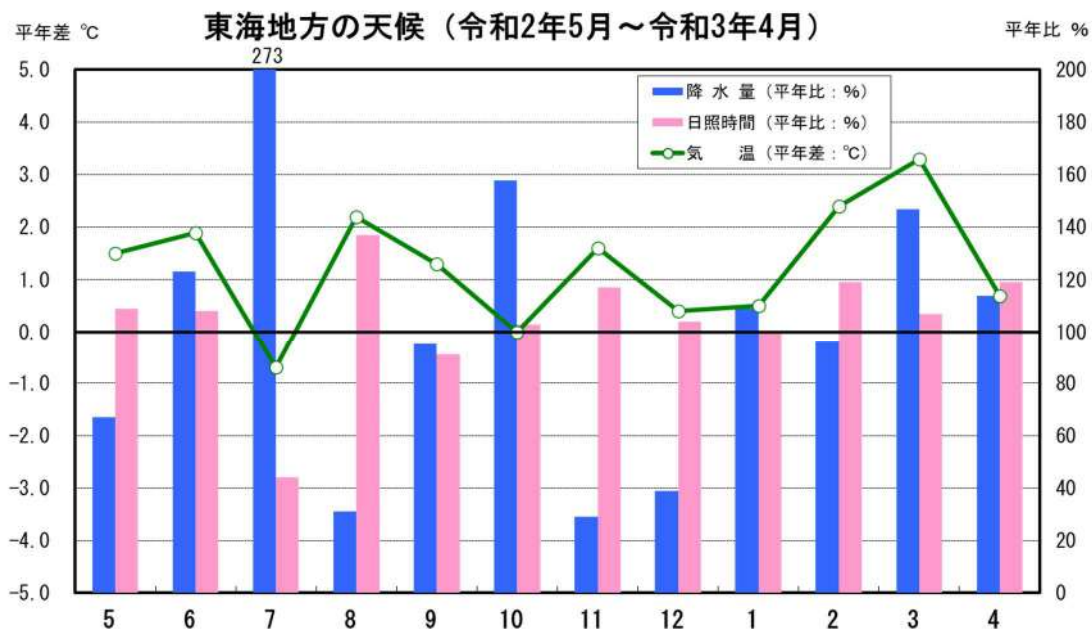
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

1 東海地方の天候(4月)

上旬から中旬にかけては日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。暖かい空気に覆われた日が多かったため月平均気温は高くなり、下旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月間日照時間は多くなりました。また、中旬と下旬には低気圧が発達しながら本州付近を通過した影響で降水量は多くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「多い」となりました。

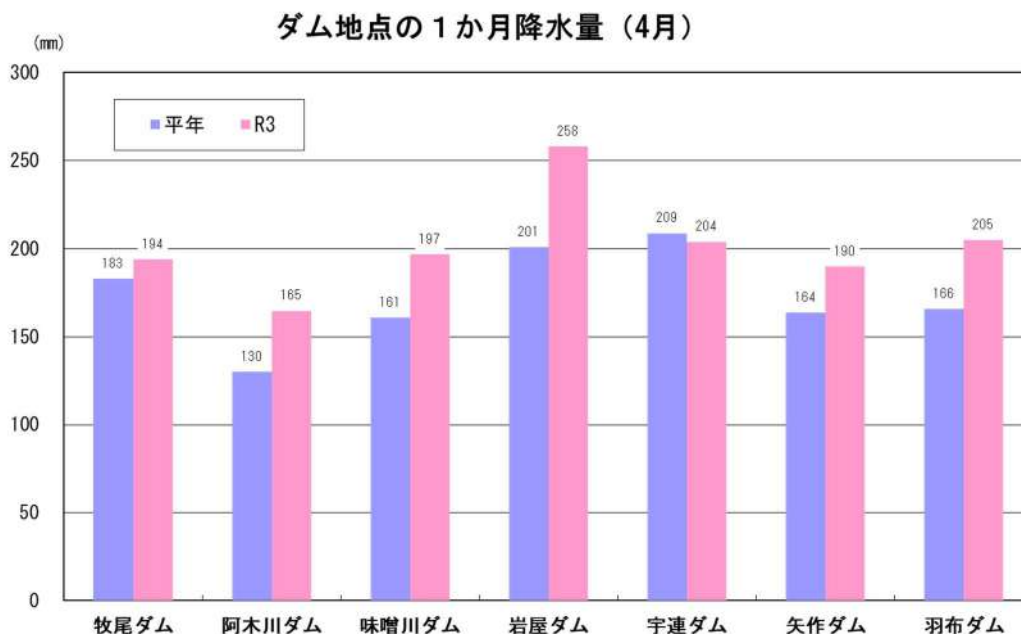
(名古屋地方気象台 令和3年5月7日発表資料を基に作成)



名古屋地方気象台発表資料を基に作成 (14地点の平均)

2 ダム地点の降水量(4月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比116%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和3年4月30日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。
当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曾川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

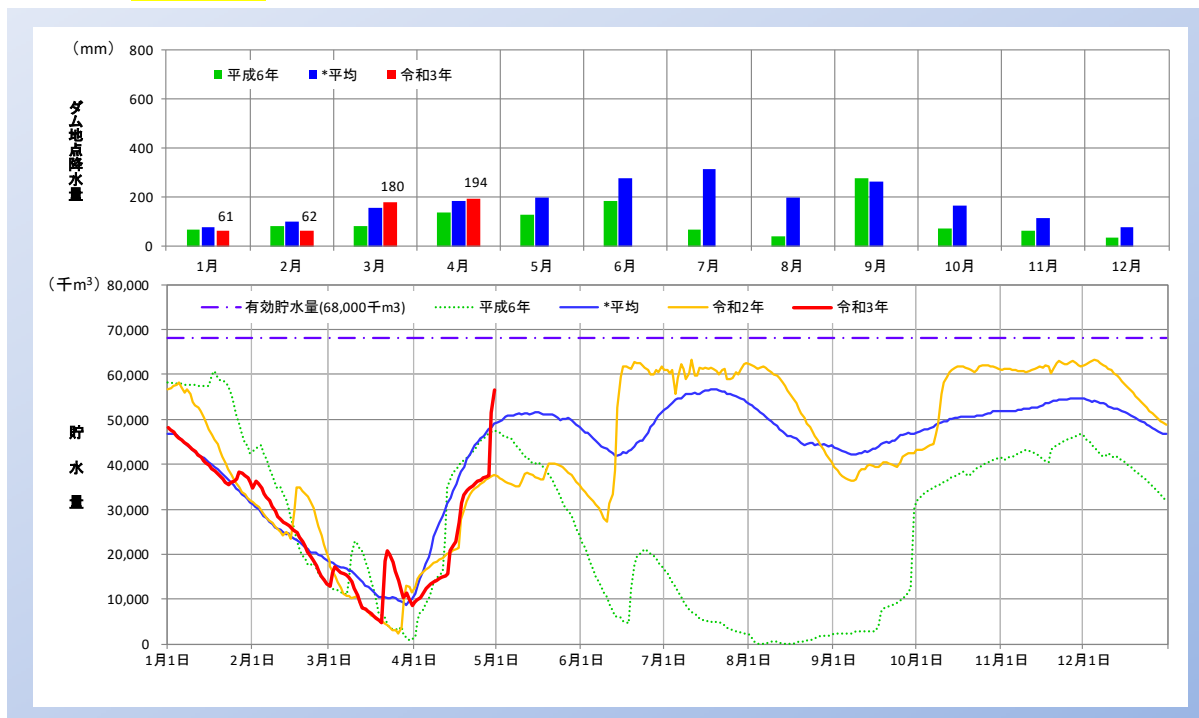
R3. 4. 30

水 源	利水容量 (千m ³)	貯 水 量 (千m ³)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曾川水系					
牧尾ダム	68,000	56,445	83.0	72.1	+ 10.9
阿木川ダム	22,000	21,902	99.6	87.4	+ 12.2
味噌川ダム	31,000	31,000	100.0	98.9	+ 1.1
岩屋ダム	61,900	44,078	71.2	61.4	+ 9.8
豊川水系					
宇連ダム	28,420	26,338	92.7	81.5	+ 11.2
豊川用水全体	51,820	48,811	94.2	88.8	+ 5.4
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	46,900	72.2	75.5	△ 3.3
羽布ダム	18,461	17,637	95.5	88.8	+ 6.7

注) 貯水率は、当日の24時(木曾川・豊川)または9時(矢作川)の値
貯水量曲線は、ホームページ水源状況、ダム貯水量曲線に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **56,445 千m³** 4月30日 現在

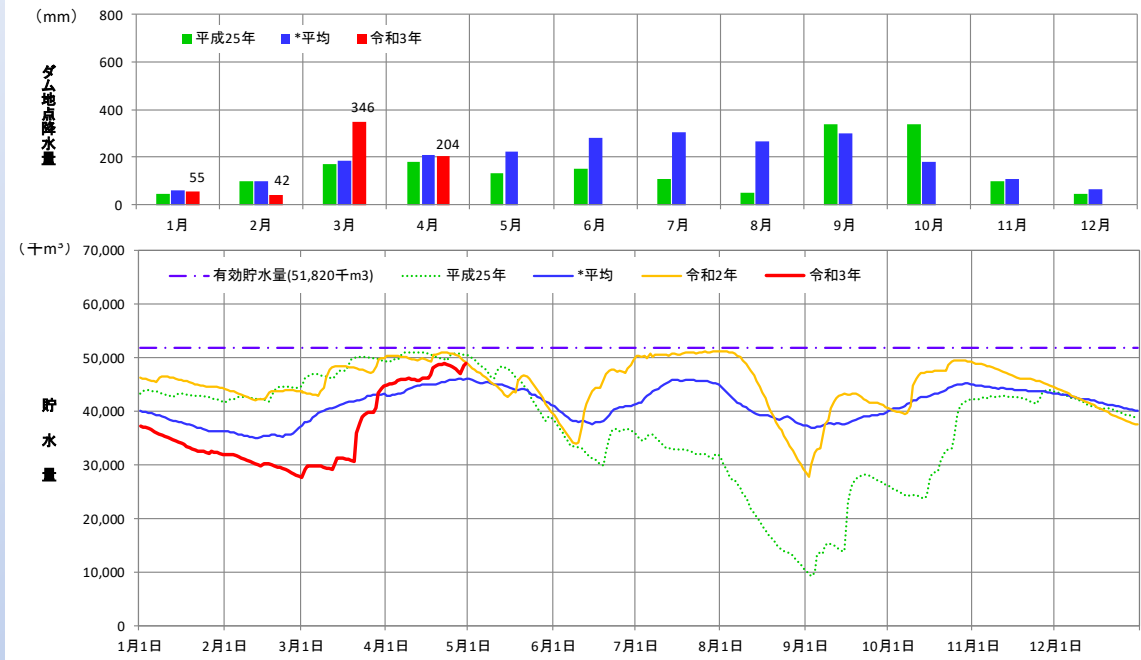


*平均: 昭和37年1月から令和2年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

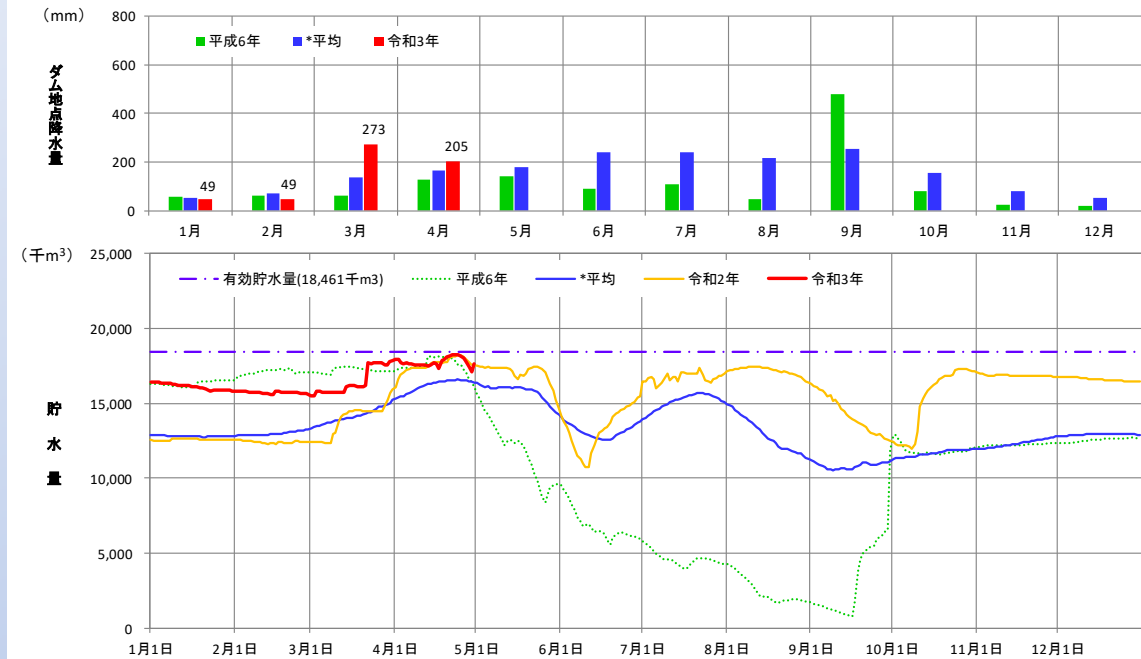
貯水量 **48,811 千m³** 4月30日 現在



*平均: 平成14年4月から令和2年12月 (雨量は昭和43年4月から令和2年12月)
 (データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **17,637 千m³** 4月30日 現在



*平均: 昭和39年1月から令和2年12月
 (データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(5月~7月)

(名古屋地方気象台 令和3年4月23日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般（5月～7月）の平均気温は、下図のように、低い確率が20%、平年並が30%、高い確率が50%の予報となっています。

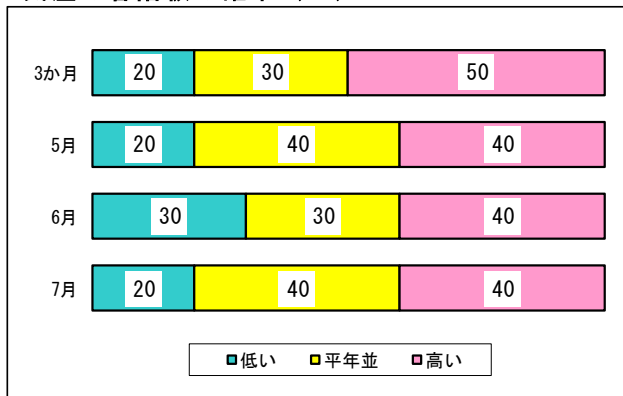


同様に、5月から7月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+3]、5月は[+2]、6月[+1]、7月は[+2]となります。

気温の各階級の確率 (%) (東海地方)

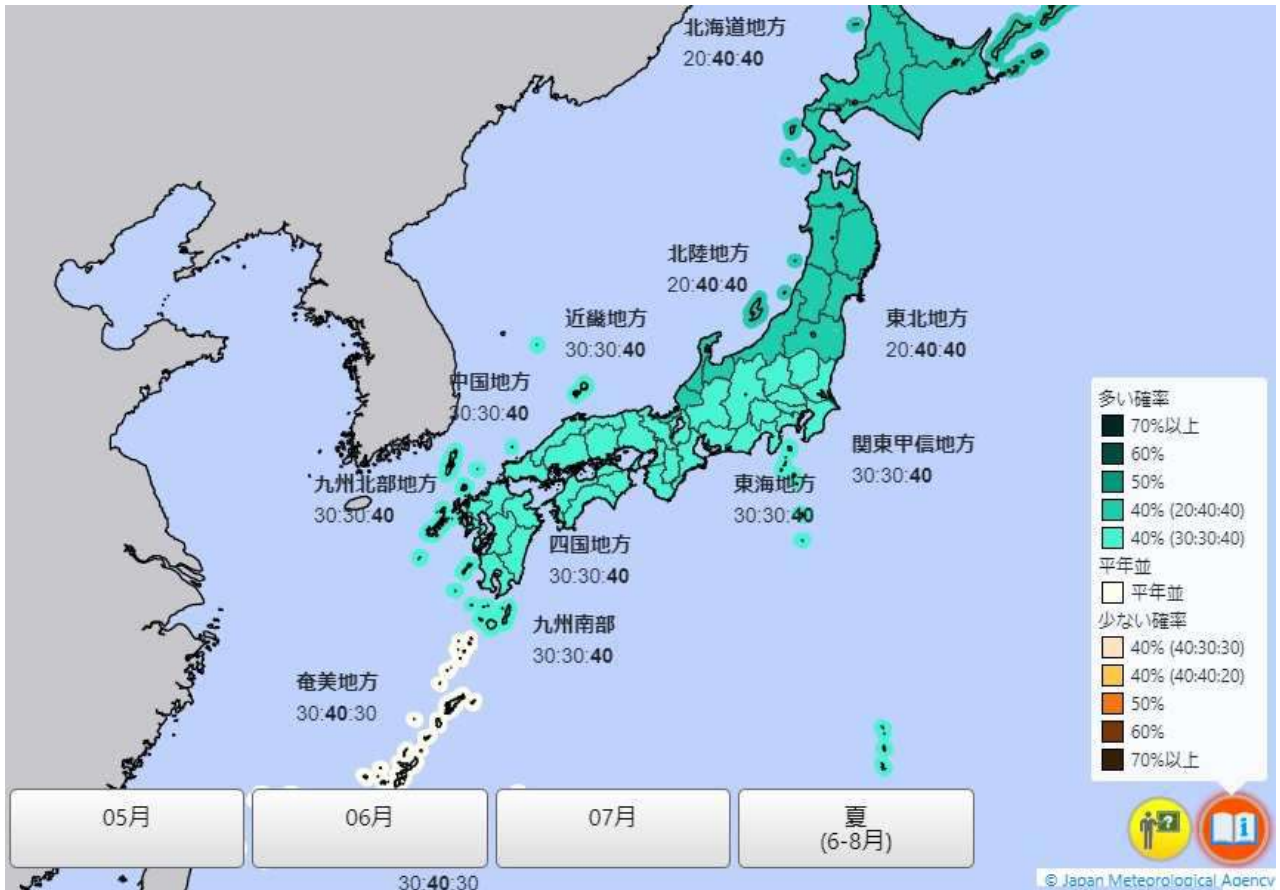


各階級の確率と等級 (東海地方)

気温	等級	予報確率	3か月	5月	6月	7月
高い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50	●			
	+2	20:40:40		●		●
	+1	30:30:40			●	
低い	0					
	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20				
	-3	50: : :				
	-4	60: : :				
-5	70: : :					

② 降水量

東海地方の3か月全般（5月～7月）の降水量は、下図のように、少ない確率が30%、平年並が30%、多い確率が40%の予報となっています。

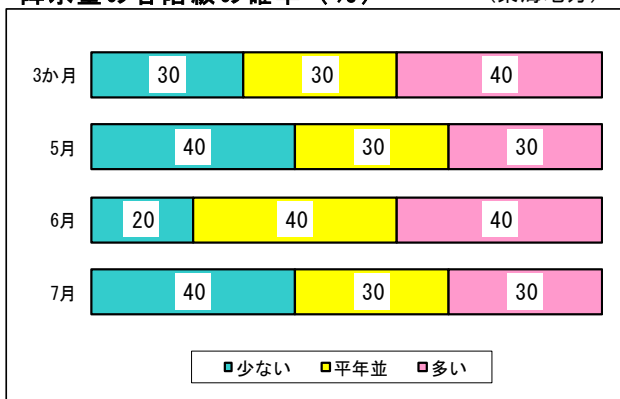


同様に、5月から7月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[+2]、5月は[-1]、6月は[+2]、7月は[-1]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	5月	6月	7月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40			●	
	+1	30:30:40	●			
少ない	0					
	-1	40:30:30		●		●
	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
-5	70: :					